

平成27年木津川市第1回定例会（3月5日）

一般質問通告書

1 柴田 はすみ	
質問事項：人が生きる、地方創生を	
質問要旨	<p>2008年に始まった人口減少は、地方だけの問題ではなく、やがて都市機能にも重大な影響を及ぼすと指摘されています。今こそ官民挙げて真正面から立ち向かわなければ、危機的な状況に陥ることは明らかです。</p> <p>そこで政府は、人口減少に歯止めをかけ、地方の活性化を推進する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と5カ年計画の「総合戦略」を閣議決定しました。</p> <p>そこで示された施策を進めていく上で大切なのは、地域が責任を持って、自ら知恵を絞り、実状に応じた戦略をたて、実行することです。地域住民の知恵と発想を柔軟に展開できる仕組みづくりが必要であると、公明党は一貫して訴え、全国の地方議員と共に取り組んできました。現場で生きる人々がその力を存分に発揮できる「人が生きる、地方創生」としていかなければならないと考えます。</p> <p>そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市としてこの問題に対する取り組み状況は。 (2) 女性の活躍について、2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%に引き上げる国の目標が示されましたが、市の対応は。 (3) 観光を通じた地域や経済の活性化は、大変重要であると考えます。市の観光事業のこれからの展望は。
質問事項：生活困窮者へ支援の充実を	
質問要旨	<p>生活者支援のために国は、「緊急支援交付金」で地域の消費を喚起するプレミアム商品券等自治体を使い勝手のよい交付金2,500億円を予算化しました。また、生活困窮者支援に対しても、2015年4月の生活困窮者自立支援法施行に伴い、「相互に支えあう」地域を築くことが、重要と考え、様々な施策に取り組みます。そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニティソーシャルワーカーや、地域福祉コーディネーターの配置の考えは。 (2) 離職により住宅を失った方の支援や、就労支援はどうしていくのか。 (3) 「貧困の連鎖」を断ち切るための施策は。

2 島野 均	
質問事項：教育情報化の流れでわが市の方向は	
質問要旨	<p>教育を強化する対策として、電子黒板、タブレット端末など新たな情報機器やデジタル教材等、教育分野にICTの利活用が進んでいます。わが市の現状と将来像を聞きます。</p> <p>電子黒板の利用・普及の進み具合と反響は。タブレット端末を活用した「反転授業」を導入する考えは。</p>
質問事項：木津川台駅部分無人化実施の対応は	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 昨年12月21日より近鉄木津川台駅が朝（始発から9時30分）夕（17時50分から終電）無人化になりました。近鉄より市に、いつどのような伝達があり、その推移、対応は。 2 朝夕無人化で、安全、安心が保たれるのか、安全意識を問う。
質問事項：ボール遊びのできる公園を	
質問要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 身近な公園では、サッカー、野球などボール遊びが原則禁止ですが、市の公園の現状（公園数、禁止看板の数）は。 2 青少年の健全育成のためにもキャッチボールなどのボール遊びができる公園を整備しては。

3 炭本 範子	
質問事項：その後を追う（Ⅰ）	
質問要旨	<p>1 汚水処理施設整備基本構想（案） 瓶原地区を汚水処理施設整備基本構想から外すという案です。地域住民との話し合いはされたか。結果はどうか。</p> <p>(1) 木津川市の公共下水道の進捗率と今後の施工箇所（年を追って）はどうか。</p> <p>(2) いつまで（案）の状態で置くのか。</p> <p>2 有害鳥獣対策（猿、猪、鹿、アライグマ） 農業新聞には「素早い対応、捕獲数増大、成果を挙げる〇〇市」と、全国各地で対策が実施されています。市においては、府と一体となって事業を進めていただいています。</p> <p>(1) 猿群、個体数は以前と変わらないか。</p> <p>(2) 被害について把握はしているか。</p> <p>(3) 侵入防止柵の設置、緩衝帯の整備、捕獲など成果は現れているか。捕獲数と内訳は。</p> <p>(4) 防止柵や緩衝帯整備後の今後の対応及び市の今後の必要とするところの計画は。</p>
質問事項：その後を追う（Ⅱ）	
質問要旨	<p>1 恭仁小学校の耐震補強とトイレの使用 棚倉小学校の改築事業の入札は、2月12日に成立したとホームページに書かれていました。ホッとしたところですが、恭仁小学校の入札について見えてきません。</p> <p>(1) 経緯や状況、結果について報告ください。</p> <p>(2) 今後の方向性については。</p> <p>(3) 平成26年第3回定例会一般質問で、恭仁小学校のトイレ使用についてお願いをしました。「学校と協議を進めながら、フェンスをするなど検討している」と答弁されました。協議されましたか。</p> <p>2 再生可能エネルギー・バイオマス資源の活用 平成26年第1回定例会において、「再生可能エネルギー・バイオマス資源の活用を」と質問いたしました。「取り組みを研究する。タイアップする企業があれば前向きに協議したい」と答弁されました。1年経過し、今のお考えはどうか。</p> <p>3 認定こども園 平成26年第3回定例会において、子育て中のお母さんたちは、旧町に幼稚園がない事と幼稚園教育を育てている地域で受けさせたいという思いがある中で、子ども・子育て支援制度、市における認定こども園の考え方をお聞きしました。</p> <p>(1) 9月の時点では「決定段階ではない」「動向を踏まえて検討したい」という答弁でした。消費税10%になることが前提なのか。</p> <p>(2) 木津川市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリックコメント受付が終わりました。意見の内容は。</p> <p>(3) 認定こども園への移行は考えられるか。</p>

4 西岡 政治	
質問事項：新制度移行と木津川台幼稚園等の建設は	
質問要旨	<p>急速な少子化の進行、核家族化、高齢化などによる子育ての孤独化、負担感が増加している。一方都市では、保育所、幼稚園に入れない深刻な待機児童問題を背景に政府は、全ての子ども・子育て家庭を対象に幼児教育・保育、地域での子ども・子育て支援の質・量の拡大を総合的に推進するため、平成24年（2012年）8月子ども・子育て関連3法（子ども・子育て支援法、認定こども園法の一部改正法、関係法律の整備等に関する法律）が成立し、今年4月から新制度が施行される予定である。</p> <p>この法律により、基礎自治体において、子ども・子育て会議条例の制定に努めるとともに、子ども・子育て支援事業計画（5カ年計画）の策定が義務付けられている。</p>

質問要旨	<p>そこで、次の事項をたずねます。</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定は。</p> <p>(2) 新制度において、幼保連携型認定こども園はどう変わったか。</p> <p>(3) 木津川台幼稚園等の建設に及ぼす影響と見直しは。</p>
質問事項：水道事業財政収支計画の見直しを	
質問要旨	<p>水道料金は、平成22年10月「木津川市水道料金及び公共下水道使用料審議会」の答申を受け、平成24年4月以降の料金より市の料金統一と大幅な料金改定が行われ、3年が経過しました。</p> <p>しかしながら、当時審議会に提出された水道事業財政収支計画（平成24年度～平成28年度）のおおりの推移していません。</p> <p>また、府営水道受水費の見直し（木津系は引下げ）が平成27年度に行われる予定と聞き及んでいます。</p> <p>そこで次の事項をたずねます。</p> <p>(1) 財政収支計画に対する実績は。</p> <p>(2) 財政収支計画の見直しは。</p> <p>(3) 見直し時に水道料金改定の考えは。</p>

5 谷川 光男	
質問事項：行政答弁後の進捗について（パート2）	
質問要旨	<p>平成23年6月から平成24年12月における定例会での私の一般質問に対し、行政から答弁いただいた項目についての、その後の進捗と検討結果についてお尋ねします。</p> <p>(1) 平成23年5月18日に防災パトロールを実施された、加茂町の赤田川と山城町上狛西澗樋門及び西ノ口川流域の対策は、どのようになっているのか。</p> <p>(2) 木津駅前から市役所までの市道335号も、職員の努力により残5件の用地買収も整い、本年度事業が完成する見込みと思われます。国土交通省管轄の国道24号の歩道については一部未買収と思われますが、木津川市はどういう動きをされているのか、また木津高等学校の通学路の整備状況については現在どこまで進んでいるのか。</p> <p>(3) 各地域長からの要望や苦情について、行政は予算の範囲内で積極的に取り組みをされていると思いますが、その実態はどうであるのか。約4年間における要望件数と処理件数等どうなっているのか。また未処理分の整理はどうされているのか。</p> <p>(4) 危険な荒廃した家屋は年々増加傾向にあるが、木津川市の今後の取り組みは。</p> <p>(5) 府営農免農道の整備も完成に近づき、神童子地域住民は、災害時緊急避難路としても大変ありがたいことであり喜んでおられますが、完成までに実施すべき、集出荷場建設の取り組みはどうなっているのか。また、府営農免農道に接続する市道上狛神童子線の路面改良や、森林公園へのアクセスである市道に覆い被さる枝等の伐採等について、市は所有者に対しどのように対応されているか。（観光バス等の通行に支障がある）</p> <p>(6) 通学路の安全対策と道路整備（カーブミラー設置、区画線等）について、平成25年6月時点では83%との答弁で、残りは今後検討するとのことであったが、現在の進捗はどうなっているのか。</p> <p>(7) 下水道事業は、東日本大震災等の災害で交付金の減額等がありましたが、山城地域の下水道整備完了の見込みはいつか。また開発区域に隣接する旧集落の整備時期及び浄化槽の設置状況はどうなっているか。</p> <p>(8) 平成23年6月補正で計上され、同年度未執行となった樺井大塚山古墳の調査実施はどうなっているのか。</p> <p>(9) ゴミ収集において拠点収集されている山城地域の高齢者世帯や障がい者世帯におけるゴミ収集について、木津地域・加茂地域のように戸別収集する提案をし、生活環境部長からの答弁では、保健福祉部と協議し前向きに取り組むとのことであったが、結果はどのようになったのか。</p>

平成27年木津川市第1回定例会（3月6日）

一般質問通告書

1 尾崎 輝雄	
質問事項：まち・ひと・しごと創生総合戦略について	
質問 要 旨	<p>安倍内閣は、人口減少と地域経済活性化を目的に、東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、地域の特性に応じた地域社会の構築を目指し、まち・ひと・しごとの創生と好循環により、活力ある日本社会を推進しています。</p> <p>そして、地方創生に国と地方が、基本認識を共有しながら総力をあげて取り組むべきであるとし、平成27年度に地方版総合戦略の策定が求められています。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 木津川市における国の2014年補正予算の交付金の金額と施策は。 (2) 今定例会に委員会条例が提出されているが、どのように人選されるのか。 (3) 今後の人口動向の分析はしているのか。 (4) 木津川市版地方創生戦略の具体的施策（メニュー）の案は、持っているのか。
質問事項：行財政改革について	
質問 要 旨	<p>木津川市待機児童の解消対策等ガイドラインにおいて、「新しく開所する保育所等の運営方式を民設民営方式とし、公設公営・公設民営方式で運営している保育所についても、可能な園から順次、民設民営方式への移行を進めます。」と明記されている。</p> <p>平成27年度から保育園が民営化されるという話は聞かない。募集はすでに終わっており、まもなく入園式が行われる状況である。</p> <p>公設公営、公設民営等の保育園の民営化は、どの程度進んでいるのか。</p>
質問事項：奈良阪川上線の開通にともなう諸問題について	
質問 要 旨	<p>奈良市域の国道369号側から木津川市梅美台7丁目に3月15日開通予定となっている奈良阪川上線について以下の質問をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 開通に伴う近隣市民への説明会は。 (2) 周辺地区は梅美台小学校の通学路でもあり、通学路の安全対策について検討されましたか。公安委員会（信号機）とはどのように協議されたのか。 (3) 優良住宅地であるので、最高速度（40km）の規制をしてはどうか。 (4) 周辺の騒音や排気ガス対策は。

2 高岡 伸行	
質問事項：山城支所周辺の土地利用は	
質問 要 旨	<p>3月1日に、山城支所別館が開所致しました。</p> <p>又、「木津川市環の拠点創出事業活性化検討会」が設置される等、山城支所周辺で、新たなまちづくりが具体的に動き始めています。</p> <p>そこで、以前にも一般質問をさせて頂きましたが、改めて現時点での支所周辺の土地利用方針について、質問させて頂きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 環の拠点創出事業等、「茶問屋」を活かしたまちづくりを推進するためには、支所東側駐車場の有効活用も含めた、上狛地域での一体的な取り組みが必要だと考えますが、どの様にお考えですか。 (2) どのように地域住民の声を汲み上げ、計画に活かしていくお考えですか。
質問事項：学校教育の現状と課題は	
質問 要 旨	<p>私がこの場で活動をさせていただく事となってから、はや4年が経過しようとしており、いよいよ1期目の締めくくりをする時期を迎えることとなりました。</p> <p>私は、これまでの一般質問において、学校教育の関係について多くの質問をさせて頂きました。</p>

質問 要 旨	<p>そこで、これまでの質問やその後の市の対応等も踏まえ、改めて木津川市の学校教育の現状及び今後の課題や方針等について、質問します。</p> <p>(1) 校舎修繕計画は</p> <p>① 市内小中学校において現在、修繕等が必要であると考えている箇所はどの程度ありますか。</p> <p>② 学校独自で実施するものと、教育委員会が実施するものの分担や時期等は整理できていますか。</p> <p>(2) ICT教育の現状と成果について</p> <p>① 平成26年度末、市内小中学校（学年別）における電子黒板の整備状況は。又、今後の電子黒板整備方針（整備順序）は。</p> <p>② 現在の教育現場における具体的な活用事例は。</p> <p>③ 全国学力調査等も含め、電子黒板導入による成果は表れていると考えているか。</p> <p>④ 活用される先生等への研修等は、十分に行われているのか。</p>
--------------	---

3 中野 重高	
質問事項：人事評価実施は、スケジュール通り進捗しているか	
質問 要 旨	<p>今回の質問は、過去に段階を追って何度も質問を行った「人事評価制度」についてです。木津川市における本制度は、私が6年越しで一般質問をしてきた中、平成26年4月にスタートされました。この件につき最後の追跡質問となります。</p> <p>昨年、6月定例会では「人事評価制度がスタートして」と題して、人事評価を進めるにあたり、細部にわたり質問を行いました。地方公務員法の改正が昨年5月に公布され、人事評価制度の義務づけ、等級別基準職務表の条例化、等級別職員数の公表ができ、地方公務員のチェックは厳しくなりました。従いまして、市が人事評価を進めるには、これらのことも踏まえつつ、十分な検討を行う必要があります。</p> <p>また、手法の面においても、評価制度のフィードバック・面談の機会・苦情処理制度などの構築が必要であり、公平・公正・透明性を確保しつつ、制度を運用していくことが重要であります。</p> <p>以上の事गरらを踏まえ、以下5点についてお聞きします。</p> <p>(1) 本年度の人事評価は、実施スケジュール通り進捗しているか。</p> <p>(2) 自己申告書の様式は、庁内ネットワークに掲載され、作成は個人配置のパソコン上で作成しているとのことだが、評価者は被評価者から送信される申告書について、他の職員が閲覧できないような環境を整えているか。</p> <p>(3) 面談の機回は、きめ細かに設定されているか。</p> <p>(4) 11月は人事評価が確定される時期であるが、今まで被評価者の苦情処理制度の活用はあったか。</p> <p>(5) 人事評価の総合判定は実施されたか。また、現時点で不服申し立てはなかったか。</p>
質問事項：各課の人員配置は適正か	
質問 要 旨	<p>私は、市役所における職員配置について、あらゆる角度から一般質問をしてみました。</p> <p>さかのぼりますと、平成24年12月定例会では「市職員が働きやすい職場」、平成25年9月定例会では「業務の平準化で健康管理を」（～時間外勤務の要因に人員の配置、削減に問題ないか～）、そして、平成26年9月定例会では「個人情報漏えい対策」等々、市役所職場における職員の配置に問題はないかを取り上げてきました。</p> <p>これまた、追跡質問を行います。</p> <p>この度、定期監査課題として示された「コンビニ交付等による行政効果及び住基カード普及率について」ですが、コンビニ交付サービスは、平成25年2月1日から開始され、利用店舗もセブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマートの4店舗に拡大されました。</p> <p>利用時間も6時30分～23時までと、役所の閉庁日や閉庁時間帯においてもサービスが受けられるとともに、市外の店舗でも利用ができ、大変便利なサービスであると市民から大変好評を頂いていると聞いています。</p>

質問 要 旨	この住基カードの普及率でございますが、特に無料交付最終月であった平成26年12月の交付枚数は801枚とのことでした。
	ということは、この間、職員は大変忙しい事務処理に追われ、そして市民は交付まで待たされる時間が長く、ご迷惑をおかけしたのではないかと思います。
	そこでお伺いします。
	(1) 現在、市民年金課の職員数は何人で、臨時職員はどれだけおられますか。
	(2) 臨時職員の業務内容は。
	(3) 昨年9月定例会で質問した個人情報漏えい対策の上でも、転入・転出・印鑑証明・戸籍等に伴う基幹システムの入力や住基ネットシステムに絡む操作は正職員のみに対応となっておりますが、市民年金課の正職員数は適正と考えていますか。
(4) 組織全体を見渡し、それぞれの部署において、実務の状況、現場の内容等を把握され、現在適正な人員配置ができていますとお考えですか。	
(5) 次年度の新規採用見込み等も、一定目途がついてきたのではないかと思います。次年度は、適正な職員数は確保できていますか。	

4 七条 孝之	
質問事項：認知症、これからの対策を問う	
質問 要 旨	高齢化社会を迎え、現実的かつ深刻化している認知症への対策について質問します。人間は歳を重ねるごとに記憶力が低下していきます。これは高齢化が進む中であって、避けることができない事実であると認めざるを得ません。認知症は今後10年先に今の倍近い730万人に上ると推計される中、市においても、認知症高齢者が増加していく傾向にあるものと推察します。以上のことから、市民がより健康に過ごせるための認知症予防対策が求められます。そこでおたずねします。
	(1) 市は認知症予防に対し、現在どのような取り組みをしているのか。
	(2) 認知症という問題に対して、今後どのような対応をしていくのか。
	(3) 平成25年第4回定例会でロコモティブシンドロームについて質問したが、その後は。

5 曾我 千代子	
質問事項：住宅ニーズのマッチングで空き家の解消を	
質問 要 旨	1 増える空き家の活用を考えるには時間がありません。 まずは、空き家バンクの台帳を作成すべきです。
	2 ニュータウンへの移住者を増やす努力と共に、空き家になった庭付き中古住宅の活用として、子育て世代が安く住めるよう斡旋し、高齢者世帯にはバリアフリー化されたマンションへの移住を促せば、双方が上手く生活できます。市内の不動産業者に協力を依頼し、住まいのマッチングを促す方策を考えるべきです。こういう取り組みが、生涯住み続けられるまちとして、木津川市の信頼度に繋がると考えます。
質問事項：当尾地区を世界遺産に	
質問 要 旨	1 歴史的意義のある加茂町当尾地区を世界遺産にすべく運動に取り組むべきである。
	2 奈良阪・般若寺から中ノ川を経て浄瑠璃寺に至る歴史的意味を持つ古道が、現在、東鳴川で人為的に通行不能になっているのは大なる損失です。この古道をハイキング道として整備することが不可欠です。
質問事項：これからの時代、住民組織を育てて市政運営に活用すべき	
質問 要 旨	1 NPOなど、市内で活躍しているグループは沢山あるが、これらを便利使いにするだけで無く、もっと大事に育てるべきであると考えます。子育てグループなども、新しい法律が出来たからと切ってしまうと、共存共栄を考え住民団体の存続を考えるべきではないのか。
	2 儲けの出ていないNPOに対しては、減免制度などを創設し支援すべきである。近隣市町では多くの自治体で既に整備が進んでいる。

平成27年木津川市第1回定例会（3月9日）

一般質問通告書

1 西山 幸千子	
質問事項：修学旅行補助金の復活を	
質問要旨	<p>昨年4月には消費税増税と給食費の値上げ、その前には放課後児童クラブ使用料の値上げなどが続いてきました。それに加えて修学旅行の補助金が廃止され、保護者と子どもたちに負担増を押し付けています。</p> <p>これからの人口減少社会の解決策は、国も認めている通り子育てしやすい環境を整えることですが、市の関わり方はあまりにも消極的です。子どもたちの貧困が広がる一方です。修学旅行補助金の復活を求めます。</p>
質問事項：介護保険の負担増に市民の悲鳴が	
質問要旨	<p>介護保険制度は、当初から「保険あって介護なし」の状態。国のさらなる改悪で介護難民や老老介護状態を増やしかねない状況です。そんな中で今回保険料の値上げが提案されています。</p> <p>そして2年後に、介護予防給付対象者の要支援1・2の該当者が支援事業に移行されると、少なからず「介護外し」が進むことが考えられます。そのことで介護状態が進むと、家族の負担や社会的支出がいつそう増える悪循環となります。</p> <p>市民の命とくらしを守る自治体として、市民を守るべきです。介護保険料の値上げの撤回を求めます。</p>
質問事項：高すぎる国保では、市民の健康を守れない	
質問要旨	<p>高すぎる国保税や窓口での負担が、診察に行く事を躊躇させるなど、診療抑制が進んでいます。所得の16%を占めるほどの国保税の負担が、市民の健康を脅かしています。市民の現状を知り、市民の願いを真摯に受け止めるべきです。1世帯当たり1万円を引き下げるべきです。</p>
質問事項：水道料金の値下げを	
質問要旨	<p>市の水道料金統一で木津地域の基本水量も10トンになり、消費税増税もされたことで、1人暮らしのお年寄りだけでなく、市民からは苦しい生活ぶりが多く聞かれます。一方、府は開会中の府議会で府営水料金の改定を提案しています。木津系は引き下げ（新年度から）で、予算もそれを反映しています。</p> <p>市は、府営水の受水費用が減るのにそれを反映した条例改正を提案していません。なぜですか。市の方針を問います。</p> <p>また、市民の節約を応援する料金体系にすべきです。</p>

2 呉羽 真弓	
質問事項：河井市政8年問を問う	
質問要旨	<p>合併の住民意思の確認のないままスタートした市の2期8年、議員として新生木津川市に関わってきた。議会を構成する一人として、重要な責務である議決の役割も余すところ今議会のみとなった。そこで、私の立場で感じる河井市政の問題点を述べて8年間の総括としたい。</p> <p>(1) 広報きづがわ2014年9月号に、行財政改革行動計画における財政効果額5年間で37億円の財政効果を生み出したと大きく広報された。内訳を見ると、繰り上げ償還の実施と職員採用の抑制及び給与の適正化が62%を占めている。さらに、廃止された金額が経年的に計上されて積み上げられている。具体的に述べると、平成22年度に前納報償金を廃止したが、続く2年分も含めての計上、つまり、1年分3580万円×3として1億740万円が効果額として計上されている。他の事業も同様で、数字のマジックといえる。それを伝えた上で、市になって廃止された教育・福祉事業は。</p> <p>河井市長が子育て支援No.1としてこれだけは譲れないとして守ってきたものは何か。</p> <p>一方、コンビニでの住民票等の交付を府内で初めて平成25年2月1日より実施した。現時点でどのように評価しているのか。</p>

質問要旨	<p>(2) 市総合計画の重要な基本方針に「まちづくりへの参画と協働の創造」があり、市民と行政のパートナーシップの推進を目標にしている。市民が主体となってつくりあげる市をイメージしての目標だと思うが、市長に聞く。</p> <p>協働とはどのようなものをイメージされ、必要性をどう認識されているのか。</p> <p>総合計画の主な事業に「市民協働ガイドラインの確立」とある。どのように進めているのか、きたのか。</p> <p>NPO法人の団体数はどう変化してきたか。市民活動団体の育成や支援はできていると思うか。</p>
------	---

3 河口 靖子	
質問事項：市民の幸福度向上にむけた未解決問題の対応は	
質問要旨	<p>1月29・30日の2日間、本市と友好都市である京丹後市へ議員研修並びに議員間の交流と連携を深めてきた。今回で3度目の研修であった。</p> <p>京丹後市の中山市長はとても感性ゆたかで、発想がおもしろい。会派で「予算決算関連資料について」をテーマに研修に行った時、「市の予算は、市民生活に多大な影響を及ぼす行政サービスの大要を定めるものですが、そもそも市民のものであり、市は予算内容を分かりやすく説明する責任があります」とのことばが記載されていた。このことを踏まえて市民向けに「京丹後市白書」が発行されている。</p> <p>月刊ガバナンス2月号の特集に「住民の『幸福度』向上」－自治体からのアプローチの中に京丹後市が紹介されていた。－住民総幸福をまちづくりのキーワードとして打ち出した理由は？の質問に、「人間が生きていくうえで誰もが思うのは、家族や仲間に幸せになってほしいということであり、抽象的で幅広い概念ではあるが、幸福を中心に据えるのが最も普遍性が高いと考えた。」との答えであった。</p> <p>市民総幸福のまちづくり推進条例（幸福条例）案は継続審議となっているそうだが、京丹後市はこれまでも、誰もが命を大切にされるまちを目指して自殺予防や生活困窮者支援に取り組んでおられる。</p> <p>さて、本市では河井市長がおりに触れて「木津川市に住んでよかったと思ってもらえるまちづくり」を進めていると発言されている。</p> <p>言いかえれば市民幸福のまちづくりにつながるようにも思う。私が一般質問で取り上げる項目もそこにつながっている。</p> <p>そこで、今回は4年間に一般質問した中から、現在未解決の問題を取り上げて質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合運動公園（グラウンド）建設は (2) 火葬場建設は (3) 公文書の一括管理は (4) 南加茂台公民館の区分や使用料の見直しは (5) 加茂文化センター申請手続きの簡素化の進捗状況は (6) 旧当尾保育園の活用方法は (7) 当尾の郷会館の空き教室の活用及び公民館と郵便局移転の進捗状況は (8) 市地域公共交通の利用促進の取り組みは (9) 孤独死の対策方法は

4 酒井 弘一	
質問事項：直ちに子ども医療費の拡充を	
質問要旨	<p>府は、子ども医療費の中学校卒業までの拡充を不十分ながらも9月実施を決断し、一般会計予算に計上した。府が9月実施を決断している以上、市もせめて9月実施だけでも施策化ができたはず。今回、市は予算化を見送ったが、その理由は何か。</p> <p>また、市にとって4月から実施した場合の必要予算約4800万円は不可能な額ではない。あらためて見送った理由は何か。</p>

質問事項：住宅リフォーム助成を	
質問要旨	<p>市長は4年前の市長選挙公約で、明確に「地域経済対策として住宅改修助成制度を創設する」と述べていた。だから、選挙直後の6月議会以来、何度もこの実施を求めてきたが、市長は最初「ニーズを調査する」、「商工会と協議する」などの答弁の後、「これは住宅の耐震改修助成の意味だった」と公約を破棄した。</p> <p>その後も、全国では実施する自治体が増え続けている。</p> <p>そもそも住宅の耐震化補助だけで「地域経済対策としての住宅改修助成」になると認識しているのか。理解に苦しむ。</p> <p>しかも、今回国の地域創生方針で「地域消費喚起・生活支援型」では、メニュー例として住宅改修助成を明示もしている。市は検討したのか。伺う。</p>
質問事項：コミュニティバスの改善を	
質問要旨	<p>国の地域創生方針の「地域創生先行型」の中に地域公共交通利用促進がある。市もその関係で300万円の予算を組んでいる。</p> <p>この300万円の予算化の目的は何か、市の考えを問う。</p> <p>あわせて、この間の市民に対するアンケートの結果から、市民の望むコミュニティバスの実現はどうすればできると考えているか問う。</p>
質問事項：市の汚水処理構想を前へ	
質問要旨	<p>市の汚水処理施設整備基本構想案が発表されてまる5年がたつ。市の策定からは実に6年になるが、住民との合意形成、「案」の文字をとる作業は止まったままになっている。</p> <p>市はどのように考えているか。どのようにして市民に理解と同意を得ようとしているか問う。</p>

5 深山 國男	
質問事項：木津川市本庁舎駐車場の管理について	
質問要旨	<p>木津川市の駐車場管理についてを問うというテーマで、一昨年の6月議会で一般質問を行いました。土曜、休日は駐車場管理を市としてはやっていない。特に木津川市庁舎の東側駐車場は20台30台くらいは無断駐車があることを総務課は自覚しているという答弁がありました。</p> <p>無断駐車への対策として平成25年度は周辺の駐車場を見て管理運営のあり方など検討し、結論を出したいという答弁でした。</p> <p>また、ゲートを付けるなど機械化するということが一つの策であるという答弁も頂き、当時話題にもなったこともある。</p> <p>あれからもう一年半が経とうとしています。どのように変わってきたのか。</p>
質問事項：木津川市加茂支所駐車場の管理について	
質問要旨	<p>加茂保健センターを使用して市主催の講演が行われた日です。その最中に私に市民から苦情が入りました。加茂支所の周辺の駐車場も、加茂支所玄関前も駐車場は1台分も空いておらず用をたすことができず困っているということです。あわてて様子を見に加茂支所に走った訳ですが、市民の苦情のとおりでした。</p> <p>加茂文化センター用の107台止められる駐車場、加茂支所職員やいづみ保育所関係者、図書館職員用の62台止められる駐車場、そして、市民用の加茂支所玄関前の37台止められる駐車場が、全て満車であることを確認しました。1台分も止められる状況ではありませんでした。</p> <p>その日は月曜日で加茂文化センターと図書館は休館日ですが、加茂支所やいづみ保育所関係者は勤務されています。</p> <p>いづみ保育所関係者は、果たして駐車場を確保することができたのでしょうか。</p> <p>特に問題なのは、加茂支所玄関前の駐車場です。市民用に37台ある駐車場に1台分も空いていなかったのです。どのようにお考えですか。</p>